



カリオン

Red Cross Society Himeji School Of Nursing | carillon



Vol.
42
2020.11

TOPIC

戴帽式 ～宣誓～

令和2年10月27日(火)

私たち122回生は、本日戴帽式を迎えることができ、大変嬉しく思います。

今年は新型コロナウイルスが流行し、今なお感染拡大が懸念されているため、私たちは感染予防対策を行いながら学校生活を送っています。このような情勢のなか、8月下旬に初めての実習を経験することができました。例年通り実習を受け入れて下さった、病院関係者の方々や患者さんには、心より感謝申し上げます。



この実習や日々の授業を通して、看護師になるための決意が強まりました。私たちは確かな知識と技術を身につけるために、主体的に学び続けます。そして、相手を思いやる豊かな心を養い、患者さんの痛みや苦しみに寄り添える看護師を目指します。

今日、この強い決意を胸に刻み、初心を忘れず、仲間と切磋琢磨しながら夢に向かって歩いていくことを誓います。

(戴帽生代表)



後期行事予定(令和2年10月～令和3年3月)

- 10月** 1日(木) 後期授業開始
4日(日) オープンキャンパス
15日(木) クラスI・II トレーニングセンター
27日(火) 戴帽式
29日(木) クラスIII発表・クラスII聴講
関西看護学生看護研究大会
- 11月** 2日(月) 球技大会
7日(土) 令和3年度社会人入試
- 12月** 25日(金)～1月6日(水) 全クラス 冬季休業

- 1月** 21日(木)・22日(金) 令和3年度一般入学試験
25日(月)～2月9日(火) クラスI 基礎看護学実習II
- 2月** 12日(金)～ クラスII 領域別実習開始
14日(日) 第110回看護師国家試験
- 3月** 3日(水) 卒業を祝う会
5日(金) 卒業式
20日(土)～4月3日(土) 全クラス 春季休業
26日(金) 第110回看護師国家試験合格発表



姫路赤十字看護専門学校 教育理念

本校は、赤十字の基本理念「人道」を看護実践で具現化するという赤十字の理念のもとに活動する看護師を育成することを使命とする。看護は人間の健康生活にかかわるケアリングである。本校は反省的実践家を育てるためにリフレクションを用いる。学生と教員にケアリングが起こる、このような学習過程を教育の基調とする。

【教育目標】

- 1) 人道(ヒューマニティ)を基盤とする赤十字の思想に基づき、人間の生命と健康を守り、苦痛を予防・軽減し、尊厳を確保できる豊かな人間性を養う。
- 2) 人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として、幅広く理解する能力を養う。
- 3) 人々の健康と生活を、自然・社会・文化的環境とダイナミックな相互作用等の観点から理解する能力を養う。
- 4) 赤十字の基本原則を基盤とする看護専門職業人としての職業倫理観をもち、看護を実践できるとともに、最新知識・技術を自ら学び続ける基礎的能力を養う。
- 5) 人々の健康上の課題に対応するため、科学的根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養う。
- 6) 健康の保持増進、疾病予防と治療、リハビリテーション、終末期など、健康や障害の状態に応じた看護を実践するための基礎的能力を養う。
- 7) 看護の実践は「安全」で「安楽」を第一とし、医療事故を未然に防止できる能力を養う。
- 8) 保健・医療・福祉制度と他業種の役割を理解し、チーム医療を実践するとともに、人々が社会的資源を活用できるよう、それらを調整するための基礎的能力を養う。
- 9) 赤十字の諸活動に関心をもち、将来、赤十字の理念のもとに活動する看護師として国内外で活躍できる基礎的能力を養う。

全国看護学生作文コンクール表彰

第11回全国看護学生作文コンクール入賞

優秀賞・啓明書房賞：「暖かーい心」

佳作：「患者・家族と作った最期の思い出」

佳作：「言葉の力」

最優秀団体賞：姫路赤十字看護専門学校

校内表彰

学校長賞：「患者・家族と作った最期の思い出」

事務部長賞：「患者の一番近くにいるからこそできること」

教職員賞：「本当の思いに触れた時」



最優秀団体賞

第11回全国看護学生作文コンクールで入賞して

● 優秀賞 啓明書房賞

最初に入賞を知った時は何かの間違いではないかと思うほど驚きましたが、今はこのような賞をいただけたことを心から嬉しく思っています。作文にした実習では、患者さんと真摯に向き合うことで患者さんの本当の思いに気付いたり、信頼関係が築かれることを身をもって実感しました。

これからも新人看護師として多くの人から学び、理想の看護師に近づけるように日々努力していきたいです。

(5階西病棟)



● 佳作 校内表彰 学校長賞

今回、賞を頂き当時実習でお世話になった患者さんご家族、指導者、先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。学生時代、実習を通し患者さんの言葉の本当の意味や本心を汲み取る大切さを学びました。今でもそれは変わりません。

現在、新型コロナウイルスで感染対策として面会制限があり、通常より大きなストレスを感じる入院生活だと思っています。だからこそ、ご家族に患者さんの様子を伝えられるよう、言葉だけでなく日々の少しの変化を見逃さないよう看護を行いたいです。

(5階東病棟)



卒業生の様子



私は今年の春に看護学校を卒業し、県立加古川医療センターで働き始めました。今年の入職時のオリエンテーションや研修はCOVID-19の影響で、例年と異なり、配属部署以外での研修となりました。今は全て貴重な経験だと考え、目の前の患者さんに何ができるかを考えることを心掛けています。半年が経過し、未熟で至らないことばかりですが、看護学校で学んだことを活かし、目の前の患者さんを大切にしていける看護師になれるよう努力しています。

(県立加古川医療センター：令和元年度卒業生)



🏠 ホームカミングデー開催

卒業生の皆さんが、同級生や教員と交流することでリフレッシュすることを目的に、8月7日(金)ホームカミングデーを開催いたしました。コロナ禍の中、縮小した卒業式以来、久しぶりに皆さんとお会いできました。明るい笑顔や楽しそうな話し声を聞くと、共に過ごした3年間は思い出され、月日が流れるのは早いなあと感じました。

毎日、色々なことを経験し、成長している皆さんの姿がとても頼もしく見え、私達も元気をもらうことができました。

(専任教師：藤元 由起子)

ホームカミングデーに参加して

ホームカミングデーに参加し、数か月ぶりに同期・先生方と会うことが出来ました。院内で時々会うこともありますが、院外であまり会えない同期にも会え、皆の顔を見たらほっとして先生方の優しさや温かさを改めて感じる会となりました。悩みや今頑張っていることを共有し、皆で体を動かしてリフレッシュできた一日でした。コロナ禍の厳しい状況でしたが、開催ありがとうございました。

(7階西病棟) 写真右



体温・体調チェックして参加



一人暮らしの生活

私はこの春から一人暮らしをしています。一人暮らしを始める前は、自分一人でやっていけるのか不安でした。普段から少しだけお手伝いをしていたので、洗濯を干すことは苦ではありませんでした。一人暮らしをしてみても分かったことは、家事の大変さです。お母さんは毎日こんなに大変ことをしていたのだと気付くことができました。時間に余裕がある時には自分が作りたいものを料理しています。最近は炊き込みご飯を作ることにはまっています。具材を変えてアレンジできるのが楽しいです。勉強や家事に追われて大変ですが、楽しみながら一人暮らしを頑張りたいと思っています。

(クラスI)



4月の入学式から半年が経ち、今年のご時世の関係で、不安な日々が続きました。

地元を離れてのひとり暮らしの中、こんな緊急事態宣言、臨機応変に行動するしかなくとも、乗り越えてきたその強さは、今後の人生の糧になると思います。

先生方や先輩方、クラスの皆さんとのご縁に感謝し、心身健康な日々が送れますように。

地元から見守り、応援しています。

(クラスI保護者)

18年間親元で過ごし、進学に伴い衣食住に関する事を自ら管理しなければならない生活が始まりました。親の心配以上に本人の不安は計り知れないものだったと思います。

しかし、その不安を取り除いてくれるような出会いに恵まれ沢山の方々に支え助けられていると聞き、親子共々とても感謝するとともに常に感謝の気持ちを忘れずに過ごしてもらいたいと思います。この一人暮らしの経験は将来の糧となるよう充実したものにしてほしいと思います。

(クラスI保護者)

一人暮らしを始めて5ヶ月が経ちました。最初の頃に比べて料理の手際が良くなったり、一人暮らしの生活に慣れてきました。食費を浮かせるためにも毎日自炊を行いお弁当作りも行いますが、忙しい時はパスタなど時短で終わる料理を作ったりしています。ここで私の朝ごはんを紹介します。毎日パンにバターを塗ったものと蜂蜜ヨーグルトは必ず

食べています。授業でヨーグルトは排便を促すためにも効果的と学んだので毎日続けて食べています。一人暮らしで家事をすることに対して大変だなと感じることも多いですが生活リズムを壊さないようにこれからも生活していきたいです。

(クラスI)



一人暮らしを始めたころは、新しい環境での勉強や家事など、慣れない日々だったので体調を崩すこともあり、正直辛いと思うこともありましたが、しかし、学校の先生や周りの友人、近くに住んでいる祖父母と兄のサポートのおかげで、今では一人暮らしをそこまで負担に思うところはありません。むしろ、家族のいない1人の時間を楽しむことができ、料理の腕も上がって、一人暮らしをしてよかったと思います。写真

の骨付き肉のぬいぐるみは、一人暮らしを始める前に買ったもので、疲れたときにこれを抱いて癒されています。枕にもでき、モチモチふわふわでとてもおすすめです。今はコロナの影響で、地元の友人を気軽に泊まり会に誘うことができなくて残念ですが、いつか誘って遊びたいと思います。

(クラスI)

初めての一人暮らしが、こんなコロナ禍で大変な緊急事態の状況の中で送り出しとなり、本当に心配で心配でしたが、今凄く貴重な経験を積んでいるのだと思い聞かせ、ただ親側としては、「頑張れ〜」としか言えないですね。自分の将来の為の勉強、そして今まで想定してなかった貴重な経験で、自分をどう高めるか、どう会得していくか、などなど、実際体感して行かざるを得ない事となる一人暮らし。いつ何でもメールや電話で親や先生方に相談していい

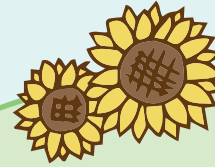
んだから、頑張ってくださいよ〜。いつでも車でいくからね〜。ファイトー！これが一人暮らしの子供に向けた応援メッセージです。

(クラスI保護者)



夏休みの思い出

HAPPY
SUMMER



私には新しくできた趣味があります。それは散歩です。この趣味は新型コロナウイルスの影響で自粛生活が続いている中、少しでも体を動かしてみようという気持ちで始めたのがきっかけです。夏季休業中も新型コロナウイルスの影響により、中々外出できない日々が続いていました。そんな時、ふらっと散歩してみると、今までの外出できないことによる体のなまりが解消されるだけでなく、心もなんだかすっきりしたような気持ちになることができました。まだまだ不安は続きますが、ピンチをチャンスに、新たな挑戦をしてみたいはいかがでしょうか。

(クラスII)



私は夏休みの間、たくさん映画やドラマを鑑賞しました。本当は友人と出かけたり、旅行がしたいと思っていましたが、まだまだ新型コロナウイルスの感染が広がっているため、家での時間を楽しむことにしました。普段は、学校や課題に追われて映画やドラマを見る時間が取れていなかったため、夏休みの間に好きな映画やドラマをゆっくり見て、リフレッシュすることができました。夏休みが明けるとまた忙しい日々が続きますが、リフレッシュする時間を上手に作り、体調管理をしていきたいと思います。

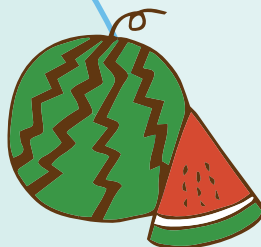
(クラスII)



私は夏休みにお菓子作りをしました。私自身お菓子が大好きで料理することも好きなので、せっかくならこの休みを利用して作ってみようと思いました。ガトーショコラ、マカロン、ドーナツ、メレンゲクッキーを作ったのですが、予定していた時間より大幅に時間がかかって大変でした。

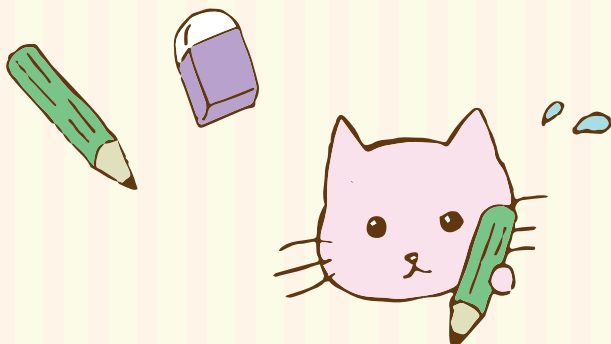
ですが、食べてみると想像以上に美味しくできていて、家族も喜んで食べてくれたのでとても嬉しかったです。また冬休みにも作りたいです。

(クラスII)



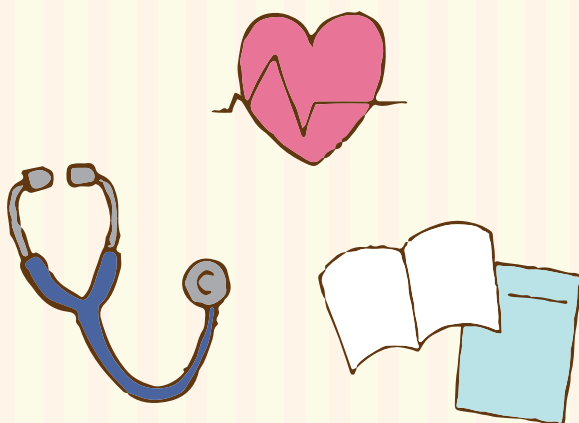


「国試に向けての学習」



私は、実習に向けて学習する際、まずマトリックスを確認します。マトリックスにはその病棟で学べることが一覧になっているので、その内容を学習します。すべて事前に学習することが難しいので、その病棟に行ったことのある学生にどこが特に大事か聞いたり、自分で絞るようにしています。自分が書いてまとめる方がいいところ、すでにまとまっている資料を使った方がいいところの区別をつけながら学習ファイルを作っています。

(クラスIII)



私は、限られた時間の中で国家試験の勉強や実習に向けての学習、課題などを行うためにやるべきことを紙に書きだし、チェックリストを作っています。チェックリストを作る時には、優先順位も考えて優先するものから順に書いています。そうすることで抜けがなく確実に行うことができます。3年生は特に時間管理が大切だと実感しているので、今後もやるべきことをきちんと行うためにもこの方法を活用していこうと思います。

(クラスIII)



COVID-19の影響により、夏休みも講義を受けながら、国家試験の勉強も進めていくのは大変でしたが、私は、レビューブックとアプリを活用して勉強を進めました。移動中は、国試対策アプリを使って、苦手分野の問題に多く触れるようにしました。

また勉強で集中が切れた時には、レビューブックにイラストを使ったマイページを付け足したり、料理を作ったりして気分転換をするようにしました。院外実習も始まり、緊張していますが、実習も国家試験対策も頑張りたいと思います。



(クラスIII)

授業参観（ケーススタディ）

● ケーススタディ発表

ケーススタディを通して、自分が実践した看護を一つ一つ丁寧に振り返ることで、自分の新たな課題にも気付いたり、自分が何を大切に看護を実践しているのかを相手に伝えることで、看護観を深めることができました。

また、自分とは違う視点で対象理解を深めている他学生の発表を聞き、私も大切にしたいと改めて感じたことや、学ぶことが沢山ありました。これからもこの学びを忘れず、看護を実践していきたいです。

（クラスⅢ）



● 授業参観に参加して

ケーススタディの発表を聞かせて頂き、対象患者様の疾患や個性を踏まえた看護を学び、実践している事がわかりました。

皆さんが、一生懸命に考えた看護を実践し試行錯誤をされた事は今後に生かされて行くと思います。3年間の成長を見る事ができ嬉しく思うと同時に、いろんな方々のサポートに感謝して、残り少ない学生生活が有意義なものになりますようお願いしています。

（クラスⅢ保護者）



● ケーススタディ発表

私は、脳梗塞によって右片麻痺となり自信を無くしている患者への関わりをケーススタディで発表しました。ケーススタディをまとめる中で、自分自身の関わりをじっくりと振り返ることができ、自分の行った看護への意味付けができたと思います。また周囲との意見交換や他の学生の発表を通して、自分の看護観を見つめ直すことができました。今回の発表を通して得たことを今後の自分の看護に繋げていきたいです。

（クラスⅢ）



● 授業参観に参加して

受け持つ患者さんの状態はそれぞれに違い、病気に伴う心理的な不安は、患者さんとそのご家族の立場によって様々です。どのような言葉をかけ、どのようなサポートをすれば、その気持ちに寄り添った看護が行えるのか、一生懸命にそれぞれの患者さんと向き合う姿を知ることができました。

また、学生同士の活発な質疑応答や、先輩看護師さんや先生方からの的確なアドバイスも拝見し、とても良い環境で学習させていただいていることに感謝いたします。

（クラスⅢ保護者）

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため多くの学校行事が中止となりましたが、7月下旬にWeb授業参観を実施し、これまでは時間調整が難しく参加できなかった方など、66.9%の保護者の皆さんにご視聴いただくことができました。また、8月31日には感染対策を徹底することで、クラスⅢの授業参観（ケーススタディ発表）に保護者の方にご参加いただきました。発表を聴いて学生に向けてメッセージを書いていただきました。皆様のご理解とご協力に感謝いたします。



● 保護者からのメッセージ ●

施設訪問班の活動

私たちは、しおさきヴィラの利用者の方々が、日常の中で少しでも季節を感じ、癒されるよう想いを込めて、季節行事の掲示物を贈呈しました。1・2年生全員で作成し、敬老の日に合わせてメッセージを書いたり、紅葉やお月見を折り紙や絵で表現し、工夫を施したことで、彩りの豊かなものを作ることが出来ました。

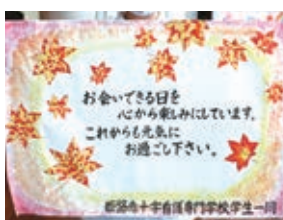
作成には難しいところもありましたが、想いを込めて作成することが出来たので、利用者の方々に喜んでいただけているととても嬉しいです。

(クラスⅡ)

今年度は、COVID-19の影響で、学生の訪問が制限され、季節行事も中止となり、従来通りの活動ができなくなってしまいました。そんな中、学生は、療養者の方々に少しでも季節を感じ、楽しんでもらいたいという願いを込めて、メッセージを届けました。

療養者の皆様に学生の思いが届きますように…

(専任教師：神戸 真由美)



院外実習

播磨大塩病院で精神看護学実習を行っています。毎回、学生がレクリエーションを実施しています。患者さんの安全を考え、季節を感じてもらったり、体を動かしたり、いろいろなアイデアを提案してくれます。患者さんはとても楽しんでくださいます。

また、病院スタッフのご協力のもと、Webカンファレンスを実施し、欠席している学生が自宅からカンファレンスに参加することができました。コロナ禍で実習が困難な状況もあります。しかし、実習施設のご理解があり、実習を受け入れて下さって本当に感謝しています。今後とも、よろしくお願い致します。

(専任教師：神戸 真由美)



玉入れ大会



金魚すくい



Webカンファレンスの様子

令和3年度 入学試験のお知らせ

一般入試

試験日程：令和3年1月21日(木)・22日(水)

願書受付：令和2年12月14日(月)～令和3年1月12日(火) 消印有効

▶ 詳しくは学校ホームページをご覧ください。 <http://himeji.jrc.or.jp/school/>



編集後記

今年はCOVID-19の影響で、これまでの当たり前であった生活を送ることができなくなりました。本校でも混乱しながらも病院等の協力を得てWeb授業や学内実習・補足実習など、学生の学修環境の確保に努めています。おかげで、苦手意識のあったICT関連業務も避けて通ることができず、その環境が当たり前になってきています。

今後も以前の生活に戻るわけではありません。新しい生活様式がこれからの「当たり前」になっていくのでしょうか。

(専任教師：藤田 美佐子)